



基本理念 この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である



院長 福治 康秀

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、あらゆるところで世話になりました。ありがとうございました。

昨年は正月から大きな災害が発生しました。能登半島地震です。当院からは、DPAT支援を1月28日から2月5日まで行い、金沢にある石川県庁で調整本部を担いました。全国DPATから現地DPATにつなぐという大事なミッションを担いましたが、現地のキーパーソンやDPATインストラクター、DPAT事務局の皆さんの協力のもと、どうにかミッションを遂行できました。関連機関の皆さん、どうもありがとうございました。ただ、その後現地では、復興を目指す中で豪雨災害に見舞われてしまいました。現地の早い復興を願ってやみません。

昨年半ばに、当院では rTMS (反復経頭蓋磁気刺激療法) の導入を行いました。沖縄県で初めての保険診療施設です。rTMSは中等度うつ病で1剤以上の抗うつ薬を使用した効果が不十分な方に適応があります。当院では、1例目の治療が終了したところですが著効しました。この治療法を沖縄県の必要としている患者さんの皆さんにしっかり届けます。よろしく願います。

また、昨年は森田療法の創始者である森田正馬先生の生誕150周年であり、日本森田療法学会が生誕の地である高知県で開催されましたが、同県香南市にある森田先生の生家が国の有形文化財(建築)に登録されました。森田正馬生家保存会の活動が実を結びました。今後も、森田先生の足跡が伝承され続けることを期待しています。

さて、今年の干支は乙巳(きのとみ)です。乙(きのと)は、十干の2番目で「軋(きしむ)」を意味しているそうです。陰陽五行説では木の陰のエネルギーを表し、植物が成長し広がっていくような意味合いとのことです。柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。巳(み)は、十二支の6番目で、蛇を表しているそうです。蛇にはネガティブなイメージもありますが、古来より豊穡や金運を司る神様として祀られてきたとのことです。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。よって、2025年の乙巳(きのとみ)の年は、成長と結実の時期となる可能性が高いとのことです。「乙」は成長途中の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味しており、この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しています。ただ、成長の速度はそれぞれで中には時間がかかる人もいます。そのため、辛抱強さが試される年にもなるとのことで、すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要となるそうです。

当院にとっても、皆さんにとっても、粘り強く取り組むことで成長と結実の年になるものと確信しています。

今年も、さらなる連携をよろしくお願い申し上げます。

院長



ふくじ やすひで
福治 康秀

1964年生まれ、那覇市出身、首里高校卒。
1993年琉球大学医学部卒、琉球大学医学部精神神経科入局。
95年那覇市立病院精神科、96年琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。
日本森田療法学会理事。
日本病院・地域精神医学学会理事。
琉球大学医学部 臨床教授。

診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・クロザリル外来
- ・アルコール依存症等外来

病床数

353床

- ・精神 151床
(一般精神・クロザピン専門・精神科救急)
- ・アルコール依存症 44床
- ・児童思春期ユニット 4床
- ・重症心身障がい 90床
- ・医療観察法 37床



路線バス 那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分

自動車 那覇市から40分沖縄自動車道道金武インターから名護向け5分

お問い合わせ

時間 8:30 ~ 17:15
(土・日・祝日・年末年始以外)
TEL 098-968-2133(代)
内線 231・234

地域医療連携室(直通)

TEL 098-968-3550
FAX 098-968-7370

治療抵抗性精神疾患への医療

精神科医長 木田 直也



クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症の患者さんに対して、当院では2010年2月からクロザピン (CLZ) 治療を開始し、登録症例数は延べ428例になりました。2024年11月のCLZ登録症例は3例で、このうち他の精神科病院に入院中であった紹介の患者さんが2例、当院入院中の患者さんが1例でした。CLZ導入前には暴力行為や多飲水などの問題行動のために、隔離や身体拘束が必要な患者さんも多くいらっしゃいましたが、CLZ継続例では問題行動も消失、もしくは軽減し、ほとんどの症例で隔離や身体拘束は解除できています。週に3回のCLZ専門外来も行っていますので、患者さんのご紹介をお願いいたします。

当院でのCLZ治療や沖縄県での地域連携の実際については、ノバルティスファーマ社の医療関係者向けサイトのクロザリル/クロザリル適正使用の流れ (<https://www.drs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril/point/>) でも動画が公開されていますので、ご参照ください。

重症心身障がい児(者)病棟

西Ⅱ病棟師長 玉城 由美恵

当院の重症心身障がい児(者)病棟では、利用者さんの治療、身体リハビリテーション、摂食機能療法、療育、日常生活の援助などを多職種で関わっています。その中で、介護福祉士の資格をもった療養介助専門員も、チームの一員として利用者の日常生活の援助を携わっています。

療養介助専門員は、スキルアップのための院内研修を受けながら専門職として役割を發揮しています。また、受け持ちの利用者さんの生活上の課題に対して、目標や介護計画を立案して日々取り組んでいます。

デイケアのご紹介

訪問・デイケア師長 翁長 稔

当院のデイケアは、毎週火曜日と水曜日の9時30分から15時30分の時間で活動しており、外来通院されている方が昼間の時間に活動する通所施設となっています。

6時間のプログラムを中心に専門医師、看護師、作業療法士、心理士、精神保健福祉士など多職種チームで関わっています。

「周囲の人たちと上手に付き合えない・・・」「友達が欲しい・・・」「家にいると何もすることがなく家に閉じこもっている・・・」「体力・集中力がなくて疲れやすい・・・」等の悩みをお持ちの方に対し、デイケアの専門のスタッフと相談しながら、ひとりひとりの希望や目標に合わせたプログラムを計画するなど、具体的な支援を行います。

各種保険が適応され、自立支援医療費もご利用になれます。一部地域への送迎がありますので、デイケアを利用したい方、或いは詳しくお話を聞かれない方は当院の地域連携室へお気軽にお声かけ下さい。

クリスマス会を開催して

療育指導室長 金城 安樹

12/13(金)西Ⅰ病棟のクリスマス会を開催しました。会場はイルミネーションで彩り、大きなスクリーンに映し出される映像、多くの利用者さんやご家族の皆様が参加されました。

プログラムでは演奏して頂く団体「ぶどうの木」さんをお招きしギターやピアノ、きれいな歌声で、クリスマスソングを中心にオリジナル曲や様々な曲が演奏されました。利用者の皆さんは生演奏に聞き入る様子でした。サンタクロースからのプレゼントタイムに会場は盛り上がり、利用者さんはサンタさんやトナカイさんと写真撮影しました。

当日は院長先生をはじめ院内各部署からスタッフの応援があり運営する事ができました。病棟利用者全員を対象とした行事は多くの皆様のご協力により運営する事ができています。安全で楽しいクリスマス会を提供でき嬉しく思います。

今後も行事をとおしてご家族やボランティアの方々との交流の機会を提供させていただきますのでご協力を宜しくお願い致します。

● 地域医療連携室だより

精神保健福祉士 長浜 直輝

地域医療連携室では初診の相談だけではなく通院中、入院中の方の経済的な相談、就労に関する相談、社会資源に関する相談など様々な相談をお受けしています。

患者さんやご家族の方、支援者からの相談など様々な方からのご相談があります。地域医療連携室の場所は受付隣となっておりますので、お困り事がございましたらぜひお気軽に連携室までお声かけください。